

<実施概要>

- (1) 募集期間：令和7年2月6日（木）～3月7日（金）
- (2) 閲覧場所：柏市ホームページ，資産管理課（市役所本庁舎4階），
行政資料室（市役所本庁舎1階），
行政資料コーナー（沼南庁舎1階），
各近隣センター（高田近隣センター除く 22か所），
富勢出張所，柏駅前行政サービスセンター
- (3) 提出方法：受付フォーム，郵送，資産管理課窓口持参，ファクシミリ
- (4) 結果：7名（17件） 【内訳：計画全般 5件，近隣センター 9件，
学校・文化施設・その他教育施設 各1件】

<御意見>

No.	分野	御意見	市の考え方	主な関連ページ
1		近隣センター、学校、保育園、庁舎を重点取組施設と位置付け、戦略的な計画策定を目指すと思いますが、いずれも市民生活にとって重要なものです。施設の老朽化は当然予測できたことです。財源が厳しいといいますが、人口減少に転ずるのは20年後です。それまでは人口増が見込まれている訳ですから、基金の一部を老朽化対策に当ててほしいです。人口減少に転じて、そこに住み生活する住民がいることに思いを寄せ、削減・統合ではなく、施設の充実のための方策を考えてほしいです。	施設の老朽化対策については、基金をはじめとした特定財源の有効活用を図りながら、必要な改修を行ってまいります。また、施設につきましても、人口動向や財政状況、地域特性等も踏まえた上で、現在及び将来の市民ニーズ（利用需要）を見据えた施設整備のあり方に基づき、「量」の適正化と「質」の向上との両立による「縮充」を目指してまいります。	P43
2		中途半端な施設をたくさん作るより、魅力ある大きな施設を一つ作ったほうが市民に喜ばれる。入場料を取れば経費を浮かすことができる。	施設が分散化するよりも、一つの施設に複数の機能を入れることで利便性の向上や運営面での効率化が期待され、本計画においても複合化や集約化は目指すべきところになります。また入場料につきましては、「受益者負担の適正化基準」に基づき、例えば近隣センターやスポーツ施設のような特定の方が市のサービス提供を受ける場合には、サービスを利用する方に使用料として一定の費用負担を求めることとしております。	P45
3	計画全般	「少子高齢化が一層進むため、将来的な財源の不足や余剰施設の増加が想定されること、総務省から総合管理計画の見直しを求められている」としていますが、他の市民生活に関する様々な事に対しても同様な理由で公助が減っているように思います。しかし、今日、現在生活している市民に対して必要な施策を行うことを大切にしてください。	柏市全体においては、厳しい財政状況の中、選択と集中をより一層徹底しながら、時勢に応じて真に必要なと考えられる施策を優先して進めております。また、本計画におきましても、人口動向や財政状況、地域特性等も踏まえた上で、現在及び将来の市民ニーズ（利用需要）を見据えた施設整備のあり方に基づき、「量」の適正化と「質」の向上との両立による「縮充」を目指してまいります。	P43
4		これから高齢者が増えていく。施設の改修もそうだが、施設のアクセスもきちんと考えるべき。コミュニティバスを走らせてほしい。	市内にはバス・タクシーなどの既存交通も存在しており、公共交通維持の観点からも、まずはその活用をお願いします。なお、市ではコミュニティ交通について、既存交通を補完するものと位置づけ取組んでおり、柏市コミュニティバス「ワニバス」（市役所ルート、逆井・南増尾・沼南コース）を導入し、駅や公共施設、生活関連施設へのアクセス向上を図っております。	—
5		そもそもこの計画は、2014年の国の「地方創生」政策から始まったものと考えます。「公共サービスの産業化・民営化」を推進する施策で、総務省が自治体に策定要請した「公共施設等総合管理計画」に沿ったものである。柏市はこれに即して公共用地を減らし、公共財産の民間市場への放出をしようとしているわけだ。他方自治体は本来国と対等に施策を考えることが出来るはずで、市民のためを考えれば、これは「良いと思えるか？」疑問である。身近にある公民館や近隣センター、複合施設の体育館や図書館など、長年とても便利に利用してきているはずだ。細かい利用度やコスト調査をしているようだが、数字だけでは決められない大切な施設ではないだろうか？ 柏市は美術館や博物館、公園、スポーツ公園・施設などが少なく、むしろ増やしてほしいくらいである。文化的な公共施設が貧しい柏市は、学校を統廃合して公共用地を減らすしかないのだろうか？子どもから高齢者までがくつろげ楽しめ、文化スポーツを享受できる施設は、減らすべきではなくむしろ増やすべきと考える。市民の側に立った目線で、公共サービスを考えてほしい。	公共施設等総合管理計画計画は、平成24（2012）年12月に発生した中央自動車道笹子トンネルの天井板崩落事故による社会インフラの老朽化についての社会的認識を背景に、国は「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、各地方公共団体に行動計画として策定が求められたものです。 第2期計画では、人口動向や財政状況、地域特性等も踏まえた上で、現在及び将来の市民ニーズ（利用需要）を見据えた施設整備のあり方に基づき、「量」の適正化と「質」の向上との両立による「縮充」を目指してまいります。	P43

<御意見>

No.	分野	御意見	市の考え方	主な関連ページ
6	近隣センター	近隣センターは、避難場所としても重要です。すぐに駆けつけられる所にこそ意味があります。稼働率を理由に地域から無くすのではなく、むしろ地域格差（特に沼南地域）をなくし、市民の安心を充実させてほしいです。	近隣センターは、地域コミュニティ拠点及び地域防災拠点として今後も重要な施設として捉えており、人口減少社会の到来が見込まれる中でも、災害や福祉等の社会課題に即した施設機能の見直しを図りながら、1コミュニティエリアに1つを維持する施設としています。一方、地域特性に応じたきめ細かな対応を図りつつ、利用率やコスト状況等に応じた施設機能のあり方を検討し、利用者のニーズにあった質の高いサービス提供が可能になるよう見直しを図る必要があります。	P57～73
7		使用率が低いからという理由で統廃合だけではなく、なぜ使用されていないのかを考えてほしいです。使いにくいとか時間枠による利用率の違いとかもあるのではないのでしょうか。今回出されている計画では、居住地から遠くなり、さらに使いにくくなるセンターもできてしまいます。様々な社会活動や人との交流が保たれることで高齢者の健康は守られるし、地域の交流が広がるのではないのでしょうか。避難所としての機能もあるでしょうから、廃止はすべきではないと思います。使いやすくという点では、和室でも椅子や椅子用机を置いていただけると、より利用しやすくなると思います。	また、再整備にあたっては、地域住民の活動や災害時の避難等への影響を考慮し、コミュニティエリア内で避難所等の既存機能の配置見直しも図ってまいります。	
8		時々近隣センターを利用するが、施設が古くて汚い、使いづらい。バリアフリーにも配慮されていない。お金がかかることはわかるが何とかしてほしい。職員の給料を減らして改修費にあてたらどうか。人が集まる、行きたくなるような施設を作るべき。地域によっても差がありすぎる。同じ柏市なんだから税金の使い方を考えてほしい。	近隣センターのバリアフリー化は喫緊の課題であると認識しており、早期にバリアフリー化を推進するとともに、適宜、市民ニーズに即した施設機能の見直しも図ってまいります。	P57～P73
9		管理計画では第3期に移転または建替となっていた沼南近隣センターが、広報かしわ3月号で3月31日閉館と発表されています。これについては、使用する地域の住民にはきちんと説明がされているのでしょうか。	閉館発表後、地域団体、利用者団体、また、地域住民を対象とした説明会を計4回開催いたしました。引き続き、広報かしわや市ホームページ等も活用し、丁寧な説明・情報発信に努めてまいります。	P57～P73
10		人口減少に伴う公共施設等総合管理計画は行うべきと考えます。近隣センターのみについてご意見を申し上げます。現在、松葉町近隣センターは、地域の町会等が6か月前から、優先的に申し込める為、3月、4月等、大会議室の利用が立て込んでいます。和室は空きが有ったりするが、登録団体で抽選で申し込めるのは2か月前で、すでに、抽選に入れなくなっている部屋もあり、優先度から行くと、登録団体の意味がなさない時があります。町会の趣味の区別も必要かと考えます。又、その為、会議室・体育館の利用が根戸近隣センターのほうへ流れ、体育館については個人利用がしやすいので、松葉から、根戸へ行かれている方もあります。町会のコミュニティを守り、健康促進の為もあり、体育館の利用も必要です。松葉から根戸近隣センターの図書も借りている方もあります。人口減少だけでは、地域のコミュニティを守っていけるか、判断の難しい所です。改修されれば、小さいお子さんを連れてこれたり、個人利用も促進されると思います。私的には、根戸近隣センターを毎月利用しているので、廃止は大いに困ります。そして、防災から考えると、地域的に残していくのは必要ではないのでしょうか？統廃合で、小さくなってしまうと、災害の時、益々、入所できないかと考えます。若い人が、お子さんと一緒に、入れるように遊び心のある場所が必用と考えます。そして、統廃合で、遠くなった施設では、コミュニティが取れにくいので考えてもらえたら、ありがたいです。	近隣センターは、地域コミュニティ拠点及び地域防災拠点として今後も重要な施設として捉えており、人口減少社会の到来が見込まれる中でも、災害や福祉等の社会課題に即した施設機能の見直しを図りながら、1コミュニティエリアに1つを維持する施設としています。また、地域コミュニティの拠点として位置付けているため、町会等地域団体の活動による利用を優先しているところです。今後の再整備にあたっては地域の皆様の活動や災害時の避難等への影響を考慮し、コミュニティエリア内で避難所をはじめ既存機能の配置の見直しも図ってまいります。	P57～P73

<御意見>

No.	分野	御意見	市の考え方	主な関連ページ
11	近隣センター	柏ビレジ近隣センターは築60年を目途に田中近隣センターへ集約し、その後廃止するという計画であるが地域住民にとって、近隣センターの重要性は今後更に高くなると想定される。超高齢社会と併せ、公民権の行使面での支障も想定され、将来にわたり近隣センター機能の維持を強く要請します。	近隣センターは地域コミュニティ拠点及び地域防災拠点として1コミュニティエリアに1つを維持する施設としています。今後の再整備にあたっては地域の皆様の活動への影響を考慮し、コミュニティエリア内での既存機能の配置の見直しも図ってまいります。	P57～P73
12		柏ビレジ近隣センターは築60年を目途に田中近隣センターへ集約し、その後廃止という計画に関しては柏ビレジ自治会長の意見表明のとおり、高齢者組織である柏ビレジ新樹会としては、健康寿命の維持向上とともに公民権の行使面での支障も想定され、近隣センター機能の維持を強く要請します。		
13		現状の設備の改修を要請します。特にトイレは男女トイレとも、3つのうち2つは使用できない状況が永く続いておりメンテナンスが行われておりません。また不衛生な状態で維持管理が不十分です。 空調やその他部屋等の施設の利便性向上や、延命化に向けて改善を要望します。		
14		現状設備の改修を強く要望します。近隣センターを利用する機会は増加しており、新樹会の活動面での役割は極めて大きいものがあります。しかしながら、中でもトイレの状況は劣悪であり、高齢者への負担は大きく、空調設備その他施設を含め、改善をよろしくお願いいたします。		
15	学校	「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」自体に多くの問題があります。けしてより良い教育環境になるとは思えません。小さな学校は問題があるとしていますが、小さな学校でこそ得られることが多くあります。統廃合ではなく、それぞれの学校の利点を生かし、誰一人取り残さない、子ども達に不安や負担をしないことのない教育政策に力を入れてほしいです。	学校の規模に関わらず、引き続き、全ての市立学校において、全ての子どもたちのウェルビーイングにつながる学校づくりに関係者との連携のもと、取り組んでまいります。	P74～P98
16	文化施設	公共施設において教育系施設が多く占めるということは、柏市がいかに関福祉、社会教育、文化系施設が少ないかということです。市民の生活を豊かにする文化施設を増やしてほしいです。	公共施設につきましては、人口動向や財政状況、地域特性等も踏まえた上で、現在及び将来の市民ニーズ（利用需要）を見据えた施設整備のあり方に基づき、「量」の適正化と「質」の向上との両立による「縮充」を目指してまいります。	P43 P127～P131
17	その他教育施設	沼南給食センターの老朽化は問題とされているのに、遅々として対策が進んでいません。早急の建て替えを要望します。	学校給食センターの移転建て替えについては、現在、建設用地の取得を進めているところです。学校給食の安定的な提供に向け、早期建て替えに努めてまいります。	P172～P176